

令和5年度授業改善推進プラン【国語】

学校名 武蔵村山市立第五中学校

1年	【目指す授業】	基本的語彙力や基本となる文型・話型を身に付け、自分の考えを表現する授業。			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○漢字の繰り返し書くなど形と音として覚えようとしているが部首や組み立てなど意味として覚えることは不十分であった。また、文章読解においては自身のなかでの理解や解釈にとどまり、考えを広げたり深めたりすることはできていない。		○新出漢字の学習の際に、部首や熟語、類義語や対義語も併せて指導を行う。また、文章読解の学習の際に、登場人物の心情や根拠と筆者の主張を各自で文章にまとめさせたり話し合わせたりして、考えを広げたり深めたりさせる。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	漢字の部首の意味も考えながら覚えている。		34.2%	50.0%	39.0%
	文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している。		42.6%	60.0%	43.0%
	【評価】	成果と課題			
C	○部首の区別はつくようになってきたが、それを生かして漢字を覚えたり書いたりすることが課題である。 ○基本的な文型を学習し、それをを用いて自分の意見を書くことはできるようになってきたが、自分の意見を話し合うことにおいて、話型や話す内容など課題が残った。				

2年	【目指す授業】	文章を読み、自ら課題を設定し解決する力を育成する。			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○漢字の読みとりの力はあるが、書きとりの力は不十分である。また、文章を読み、自ら課題を立て考えることを苦手としており、読みを深めることはできていない。		○テキストや教材内の漢字等について範囲を指定して学習を促し、小テストや夏休み明けテスト等で定着を図る。また、文章を読む際には目標を明確にし、他者との意見交流を通じて考えを深めさせる。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	漢字の部首の意味も考えながら覚えている。		31.9%	50%	35%
	文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している。		36.9%	50%	45%
	【評価】	成果と課題			
C	○漢字の書き取りができるようになってきたが、部首の意味を考えながら書くことが課題である。 ○文章を読み、感じたことを書くことができるようになってきたが、自分の言葉で説明することについては課題が残った。				

3年	【目指す授業】	応用的語彙力を高め、自分の意見や考えをアウトプットする能力を育成する			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○基本的語彙力は高まり、型にはめた文章を作ることができるようになったものの、自己完結してしまい、それをもって他者と議論したり、話し合ったりして行くことが苦手な生徒が多い。		○意味調べや漢字練習の際に同義語や対義語を併せて教え、文章に対する自分の意見文を書かせ、それを他者との交流を通じて発表させ、意見や考えを他者に伝えさせる。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	似た意味や反対の意味の漢字、使われている熟語などを確かめながら覚えている。		20.1%	50%	46.4%
	文章を読んで、理解したことや考えたことなどを他人に説明している。		31.7%	50%	35.2%
	【評価】	成果と課題			
B	○言葉そのものの意味は理解したが、類義・対義を意識する習慣が定着しなかった。 ○文章を読解し、自分の考えを整理して、他者に伝える意識は向上し、身に付いてきた。				

令和5年度授業改善推進プラン【数学】

学校名 武蔵村山市立第五中学校

1年	【目指す授業】	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解し、事象を数学化した り、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける授業。			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○小学校で身に付けるべき数量や図形の基礎的な知識が確実に身に付いているとは言い難い。基礎の充実を図るとともに、事象を数学化し、数学的に表現、処理する活動につなげていく。		○授業の最初に、一人1台端末を用いて、基礎的な計算や図形の問題に取り組ませる。必要に応じて、小学校の内容まで遡る。お風呂の水、本棚の組み立て、身のまわりの物の形など、様々な事象を数学的に捉えさせ、表現、処理させる。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	学習する言葉や公式は、見なくても言えるようにしている。		21.3%	34.0%	56.4%
	学習した言葉を使って自分の考え方を説明している。		21.9%	34.0%	57.7%
	【評価】	成果と課題			
A	○用語や公式を知識として習得できるようになってきている。 ○学習した言葉の意味を理解し、自分の考えを説明する時に活用できるようになってきている。				

2年	【目指す授業】	基礎的な計算力の向上を目指し、基本的な問題を自ら解決できる技能を身につける授業			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○小学校で身に付けるべき基礎的な四則計算の計算ができていないため、新しい単元に関する問題を解決するのに時間がかかっている。		○百ます計算や自宅学習ファイルを繰り返して取り組み、基礎的な計算力の向上を図り、小テストを適宜実施する。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	テストやドリルでまちがえたときは、似た問題を選んで、特に練習している。		23.8%	35%	60%
	問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。		7.5%	18%	34%
	【評価】	成果と課題			
B	○自宅学習ファイル課題を継続したことで、練習しようとする態度が養われた。 ○証明の流れをフローチャートにする指導を継続したことで、図に表す姿勢が醸成された。				

3年	【目指す授業】	学習したことを生かし、自ら考えて、理解することがきる授業。			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○小学校及び中学校のこれまでの内容の定着不足が見られる。 ○家庭学習が不十分で定着していないものが多い。		○毎時間授業に関係する既習事項の復習を行う。 ○自主学習ノートでの演習を行い、基礎及び家庭学習の力を養う。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	前に同じような問題をやったことがあるかや、今までの学習した問題とどこが違うかを考えている。		22.2%	35%	21.6%
	問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。		11.1%	20%	26.5%
	【評価】	成果と課題			
B	○いつやった問題と類しているかを復習しながら取り組んだが、考え方の定着に課題が残った。 ○問題文を解釈する方法として、図や表、グラフに表して考えることは目標値を達成した。				

作成の留意点

令和5年度授業改善推進プラン【 】

学校名 武蔵村山市立

中学校

1年	【目指す授業】	①UD デジタル教科書体 NP-R、フォントサイズは9ポイントとする。			
		生徒の実態・課題	具体的な手だて		
	○	②評価指標は令和4年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査（東京都教育委員会）」（以降、都調査とする。）の質問項目及び調査結果を引用する。		○	
		評価指標		6月	目標値
				%	%
				%	%
	【評価】	成果と課題			
		④評価の指標は2つまでとする。			

2年	【目指す授業】				
		生徒の実態・課題	具体的な手だて		
	○			○	
				6月	目標値
				%	%
				%	%
	【評価】	成果と課題			
		○ ○			
		⑤評価について、目標達成は「A」、目標未達成だが、数値が改善した場合は「B」、数値の改善が見られなかった場合は「C」で示すこととする。			

3年	【目指す授業】				
		生徒の実態・課題	具体的な手だて		
	○			○	
				6月	目標値
				%	%
				%	%
	【評価】	成果と課題			
		○ ○			
		⑥2月の数値は、各校で2月中旬までに生徒向けにアンケートを実施し、肯定的評価（「1」または「2」と回答）を集計した結果とする。			

